

株式会社オートバックスセブン 第72期 定時株主総会



2019年6月21日

**監査役による
第72期の監査報告**

事業報告

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

財務状態、経営成績及び キャッシュフローの状況

第72期における事業環境

- **新車販売台数の増加**
- **ドライブレコーダーに対する注目度の向上**
- **下期以降の車検対象車両の増加**

連結損益計算書(2018年4月1日～2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

| | 第72期 | | 第71期 |
|---------------------|---------|-------|---------|
| | 実績 | 前年比 | |
| 連結売上高 | 213,840 | +0.7% | 212,328 |
| 売上総利益 | 67,581 | ▲0.6% | 67,966 |
| 販管費及び一般管理費 | 60,102 | ▲0.1% | 60,177 |
| 営業利益 | 7,478 | ▲4.0% | 7,789 |
| 経常利益 | 8,203 | ▲0.3% | 8,226 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 5,485 | +1.5% | 5,403 |

連結損益計算書(2018年4月1日～2019年3月31日まで)

特別利益

(単位:百万円)

| | 実績 |
|-----------|-------|
| 受取保険金 | 929 |
| 投資有価証券売却益 | 474 |
| 計 | 1,403 |

特別損失

(単位:百万円)

| | 実績 |
|---------|-------|
| 減損損失 | 215 |
| のれん償却額 | 190 |
| 特別退職金 | 272 |
| 災害による損失 | 973 |
| 店舗整理損 | 201 |
| 計 | 1,852 |

連結損益計算書(2018年4月1日～2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

| | 第72期 | | 第71期 |
|---------------------|---------|-------|---------|
| | 実績 | 前年比 | |
| 連結売上高 | 213,840 | +0.7% | 212,328 |
| 売上総利益 | 67,581 | ▲0.6% | 67,966 |
| 販管費 | 60,102 | ▲0.1% | 60,177 |
| 営業利益 | 7,478 | ▲4.0% | 7,789 |
| 経常利益 | 8,203 | ▲0.3% | 8,226 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 5,485 | +1.5% | 5,403 |

連結損益計算書(2018年4月1日～2019年3月31日まで)

| | 実績 |
|-----------------|--------|
| 1株当たり当期純利益 | 66円58銭 |
| 売上高当期純利益率 | 2.6% |
| 自己資本当期純利益率(ROE) | 4.4% |

報告セグメント別業績

(単位:百万円)

| | | 売上高 | | 営業利益 | |
|---------|------------------|---------|--------|--------|-------|
| | | 実績 | 前年比 | 実績 | 前年比 |
| 報告セグメント | 国内オートバックス事業 | 179,060 | ▲1.2% | 14,869 | ▲6.2% |
| | 海外事業 | 11,217 | +18.0% | ▲783 | - |
| | ディーラー・BtoB・ネット事業 | 30,028 | +5.6% | ▲1,076 | - |
| | その他の事業 | 2,207 | ▲6.1% | 428 | ▲1.4% |
| 調整額 | | - | - | ▲5,958 | - |

連結貸借対照表(2019年3月31日現在)

(単位:百万円)

| | |
|----------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | 負債の部 |
| 181,391 (▲5,963) | 57,203 (▲2,798) |
| | 純資産の部 |
| | 124,187 (▲3,165) |

(注) カッコ内数字は前会計年度からの増減額

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

| | 株主資本合計 |
|-----------------|---------|
| 2018年4月1日期首残高 | 125,163 |
| 剰余金の配当 | ▲4,952 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 5,485 |
| 自己株式の取得 | ▲2,916 |
| 自己株式の処分 | 0 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | ▲2,383 |
| 2019年3月31日期末残高 | 122,780 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 金額 |
|------------------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,447 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲3,078 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲9,876 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | ▲8,518 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 39,050 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 30,531 |

インターネットにて開示の項目

内 容

事業報告

内部統制システムに関する基本方針およびその整備・運用状況の概要

会社支配に関する方針

連結計算書類

連結注記表

計算書類

個別注記表

| 内 容 | 該当ページ |
|------------------------------------|----------|
| 個別貸借対照表 個別損益計算書 個別株主資本等変動計算書 | 59～61ページ |
| 財産および損益の状況の推移 | 28ページ |
| 経営方針、経営環境及び 対処すべき課題 | 29～31ページ |

| 内 容 | 該当ページ |
|-----------------------|-------|
| 設備投資の状況 | 43ページ |
| 資金調達の状況 | |
| 当社グループの主要な事業内容 | 44ページ |
| 当社の主要な事業所 | |
| 重要な子会社の状況 | |
| 重要な関連会社の状況 | 45ページ |
| 従業員の状況 | |
| 主要な借入先および借入額 | |
| その他当社グループの現況に関する重要な事項 | |

| 内 容 | 該当ページ |
|------------|----------|
| 株式の状況 | 46～47ページ |
| 会社役員の状況 | 48～52ページ |
| 会計監査人の状況 | 53ページ |
| 会社の体制および方針 | 54ページ |

**第72期における
2017中期経営計画の進捗状況**

第72期における事業環境

- **新車販売台数の増加**
- **ドライブレコーダーに対する注目度の向上**
- **下期以降の車検対象車両の増加**

国内オートバックス事業

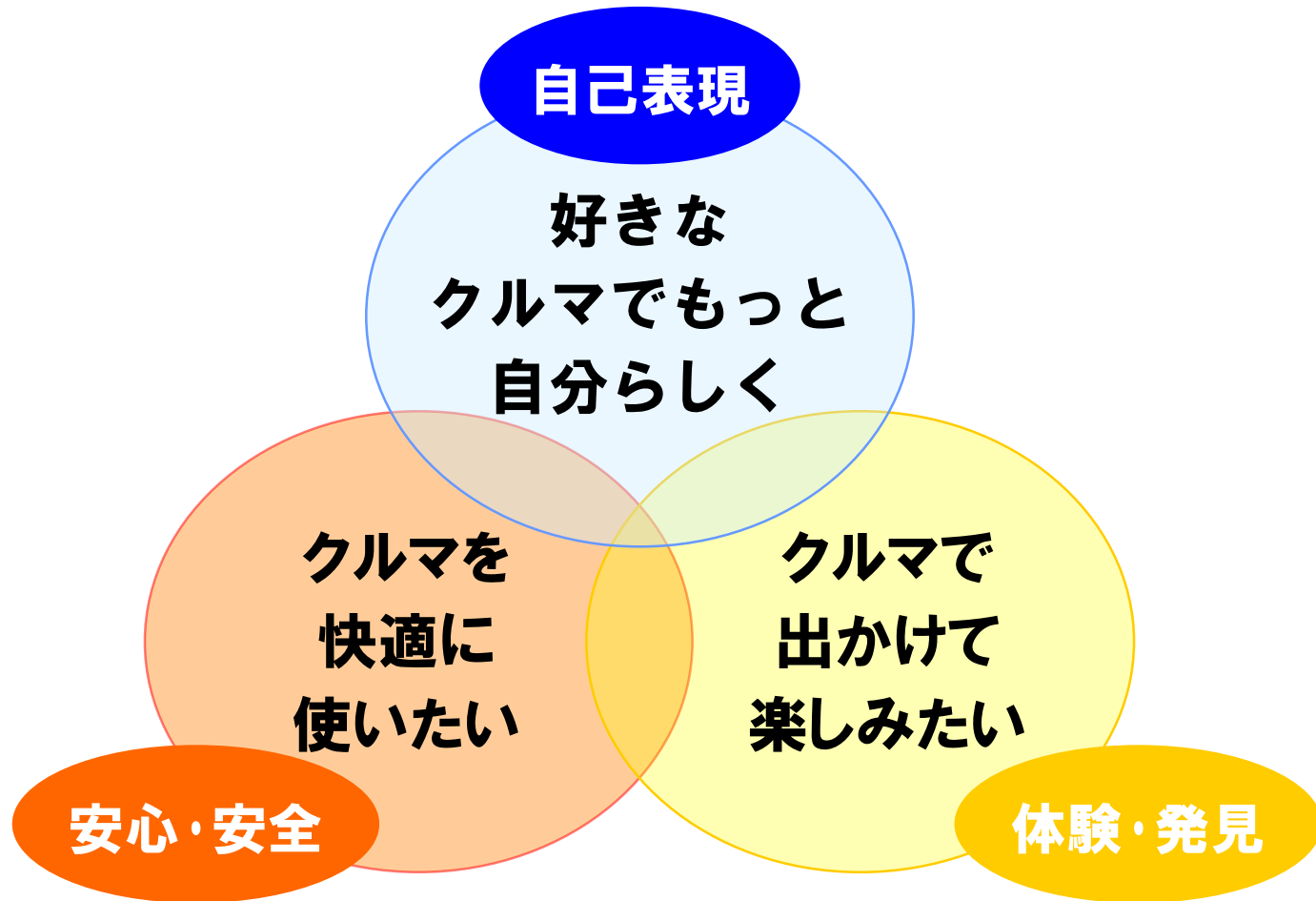
国内オートバックスチェーン全業態の売上高

前期比

既存店、全店ともに : 0.5%増加

国内オートバックス事業

お客様に提供する3つの価値



国内オートバックス事業

タイヤ販売は前年割れ



ドライブレコーダーが好調に推移



国内オートバックス事業

AQ. (オートバックスクオリティ.)

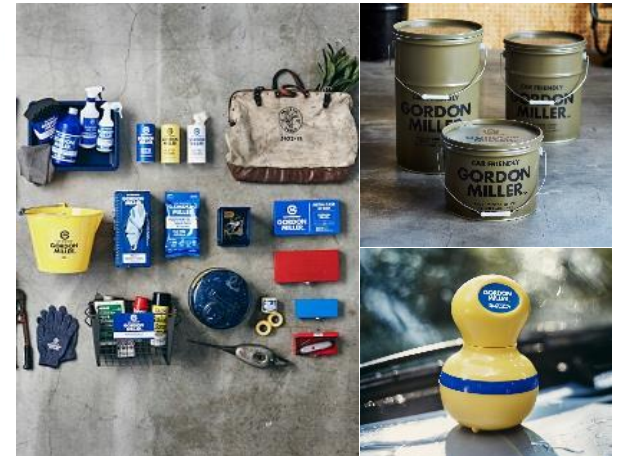


JKM(ジェイケーエム) / GORDON MILLER (ゴードンミラー)

JKM



CAR FRIENDLY
GORDON MILLER™



国内オートバックス事業

店舗リノベーション

2019年3月期 実施店舗数:127店舗

変更前



変更後



レジ前の回遊性を改善



接客を要する商品の配置変更



レジ横業務スペースの改善

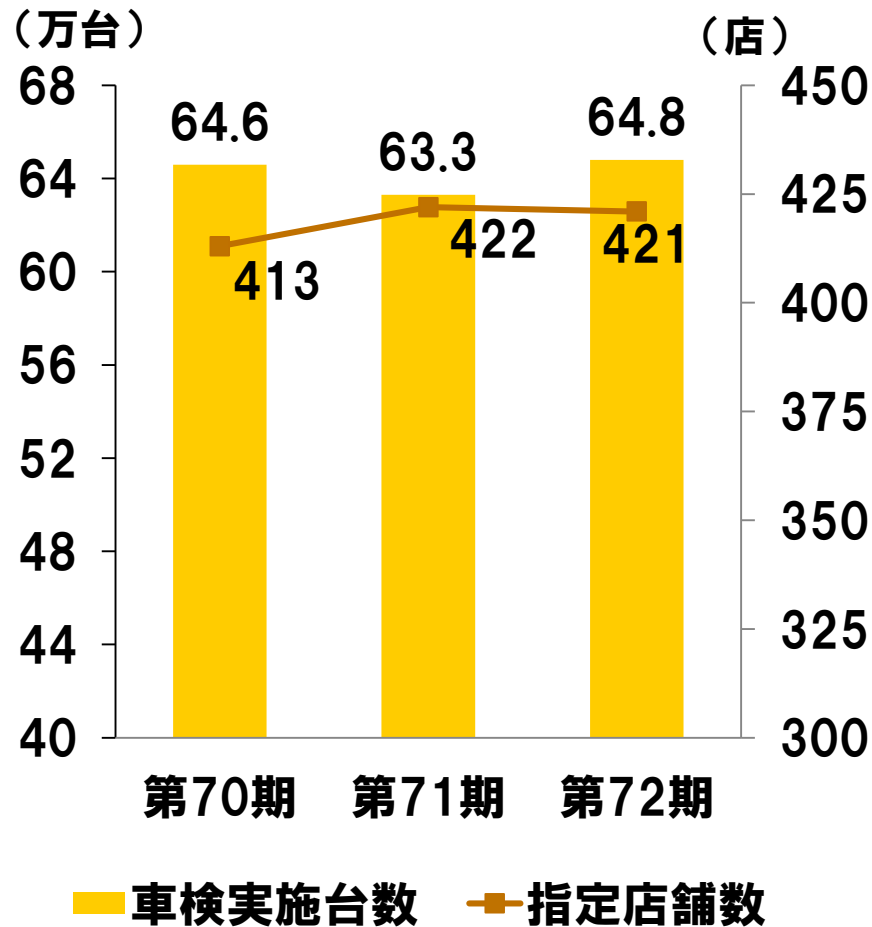


J&M、GORDON MILLERの展開

国内オートバックス事業

車検・整備

車検実施台数と指定店舗数



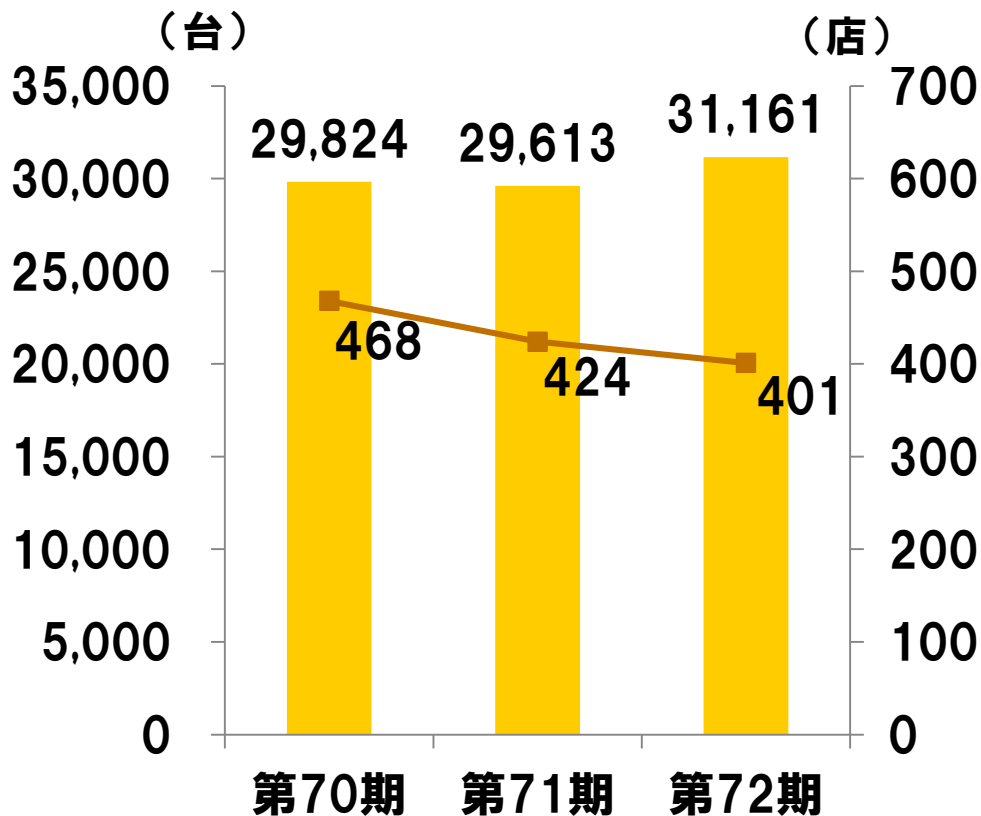
AUTOBACS GUYS(オートバックスガイズ)



国内オートバックス事業

車買取・販売

車買取・販売 台数とカーズ加盟店舗数



■ 車販売台数 —■— カーズ加盟店舗数

※販売台数は車買取専門店を含む



国内オートバックス事業

JACK & MARIE **クルマを通じたライフスタイルショップ** GO FOR A RIDE

リアル店舗出店を推進

2号店：ららぽーと名古屋みなとアクルス
(2018年9月28日オープン)

3号店：横浜ランドマークプラザ
(2018年11月8日オープン)

4号店：MARK IS 福岡ももち
(2018年11月21日オープン)



JACK & MARIEららぽーと名古屋みなとアクルス



JACK & MARIE横浜ランドマークプラザ



JACK & MARIE MARK IS 福岡ももち

国内オートバックス事業



A PIT AUTOBACS SHINONOME

(2018年11月23日オープン)



国内の出退店

| | 2018年 3月末時点 | 2019年 3月末時点 | 増減 |
|------------------|----------------|----------------|-----|
| オートバックス | 497 | 493 | ▲4 |
| スーパーオートバックス | 74 | 74 | ±0 |
| オートバックスセコハン市場 | 8 | 7 | ▲1 |
| オートバックスエクスプレス | 11 | 11 | ±0 |
| オートバックスカーズ | 13 | 8 | ▲5 |
| 合 計 | 603 | 593 | ▲10 |
| カーズ(フランチャイズ)加盟店舗 | 424 | 401 | ▲23 |

海外事業(小売・サービス事業)

フランス

- ・FC店舗の直営化により売上増加
- ・天候不順等の影響で既存店収益悪化



フランス エアブレイ店

タイ

- ・PTGグループが運営するガソリンスタンドモールへの小型店出店により売上増加



タイ リブドゥアン ラミントラ店

シンガポール

- ・カーシェア車両へのメンテナンスサービスは順調も、店舗でのサービス売上が低調



シンガポール メンテナンス待ちの
カーシェアリング車両

海外事業(卸売事業)

中国

- ・国内外におけるカー用品卸売が伸長

ロシア

- ・プライベートブランドオイルの卸売



シンガポール インドネシア マレーシア

- ・現地ハイパーマーケットなどへのカー用品卸売が増加

オーストラリア

- ・株式取得によりAudioXtra Pty Ltd.を子会社化

海外における出退店

| | 2018年 3月末時点 | 2019年 3月末時点 | 増減 |
|--------|----------------|----------------|----|
| フランス | 11 | 11 | ±0 |
| タイ | 9 | 15 | +6 |
| シンガポール | 3 | 3 | ±0 |
| 台湾 | 6 | 7 | +1 |
| マレーシア | 5 | 4 | ▲1 |
| インドネシア | 4 | 3 | ▲1 |
| フィリピン | 3 | 3 | ±0 |
| 海外計 | 41 | 46 | +5 |

ディーラー・BtoB・ネット事業

輸入車ディーラー事業

- ・拠点数増加に伴い売上が増加
- ・輸入車ディーラー事業を統括する株式会社オートボックス・ディーラーグループ・ホールディングスを設立

BtoB事業

- ・新たに設立した株式会社CAPスタイルによる経営統合効果により収益体質改善の兆し

ネット事業

- ・既存ECサイトを改善し、BtoB向けプラットフォームを構築

今後の取り組み (対処すべき課題)

当社グループを取り巻く事業環境

- **自動車の電子化**
- **シェアリングサービスなど新たな市場の拡大**
- **電気自動車の普及、自動運転の開発**
- **同業他社だけでなく異業種との競争激化**
- **少子高齢化による顧客構成の変化やニーズの多様化**

2017中期経営計画

連結グループとして目指した姿

1. オートバックス事業の再生

店舗と商品の魅力を高めてお客様に支持されている

2. 将来に向けた成長ドライバーの育成

- ・海外事業:各国のニーズに合った小売・サービスと卸売事業
- ・新規事業:車買取専門店、BtoB事業、輸入車ディーラーなど

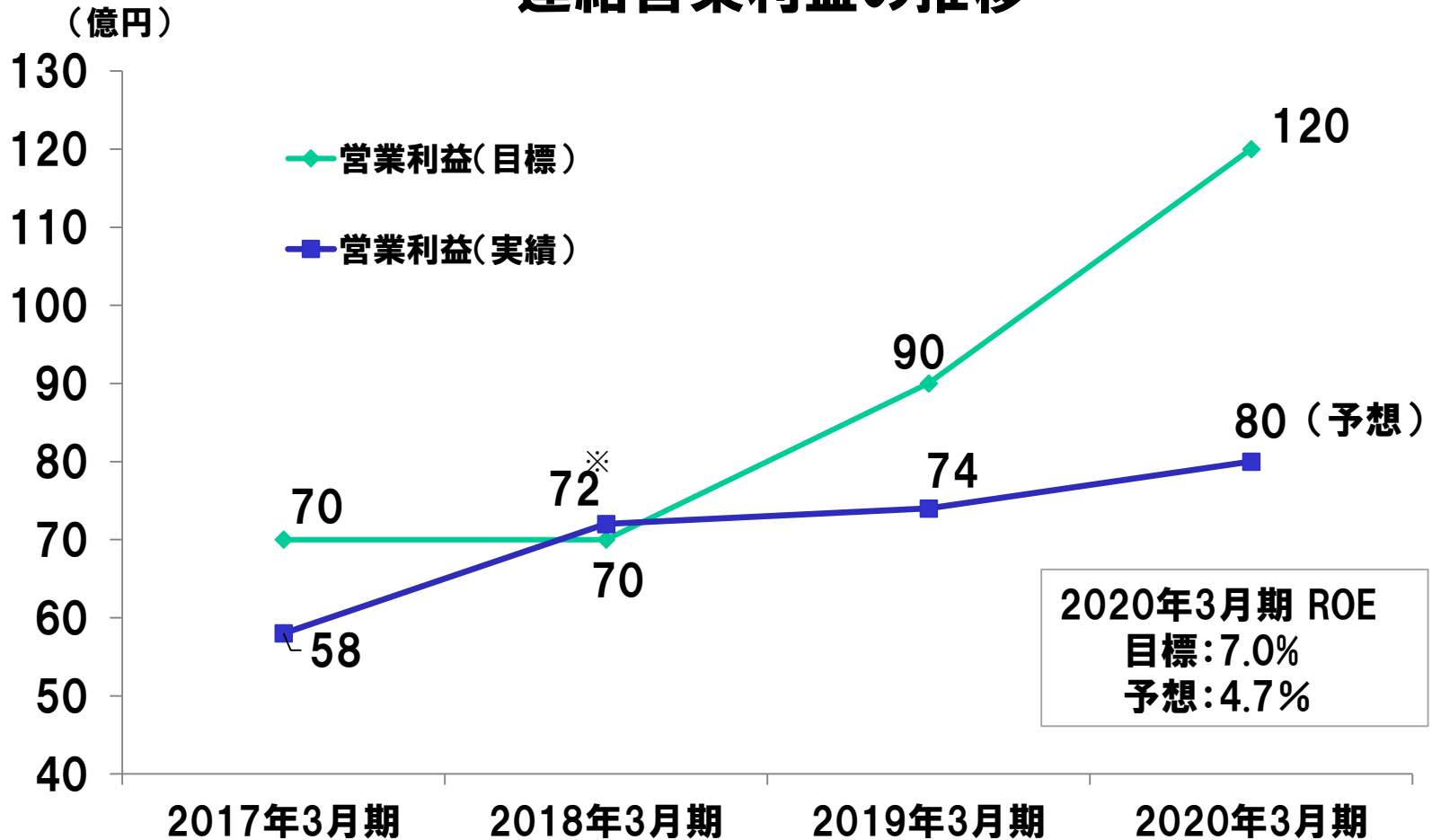
経営目標(2020年3月期)

連結営業利益 **120億円**

連結ROE **7.0%**

2017中期経営計画 結果

連結営業利益の推移



※表示方法変更後の
実績は77億円

5ヵ年ローリングプラン2019

■当社の使命

新しいカーライフ文化を創造し続けること

■5ヵ年ローリングプランで実現すること

クルマを利用するシーンに合わせたサービスを提供するために6つのネットワークを確立し、連携させます

5カ年ローリングプラン2019

6つのネットワーク

1)オートバックスチェーンネットワーク

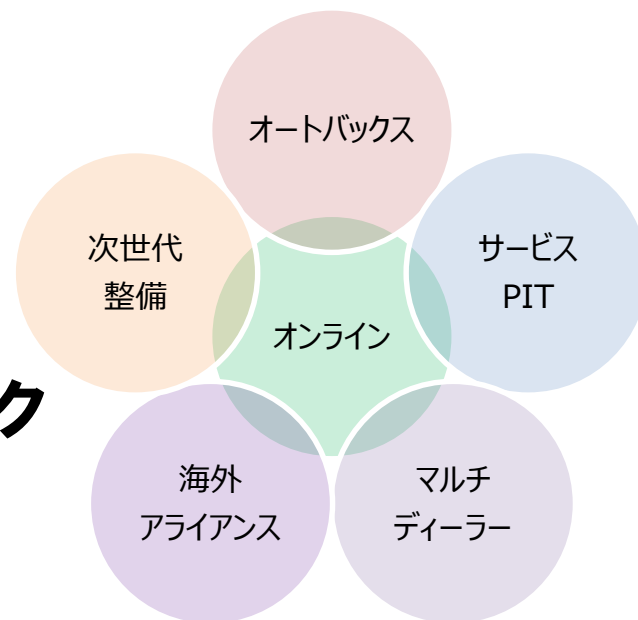
2)海外におけるアライアンスネットワーク

3)マルチディーラーネットワーク

4)最適なサービスを提供するピットのためのネットワーク

5)次世代技術に対応する整備ネットワーク

6)お客様とのリレーションを高めるオンラインネットワーク



5ヵ年ローリングプラン2019

足元の取り組み

6つのネットワークを確立・連携させる取り組みに集中

事業基盤の整備も進める

- ・国内オートバックス事業リソースの効率化

- ・小売収益の拡大

(オートバックスチェーンの最適な在り方を模索する)

- ・実験業態の見直し

- ・海外小売事業の縮小

- ・IT基盤、物流基盤の再構築

5カ年ローリングプラン2019

実現を支える仕組み・制度

- 1) モニタリング体制の強化
- 2) 執行体制の変更
- 3) 執行責任者の評価軸の変更
- 4) プロジェクト運営の増進
- 5) チャレンジを推奨する風土づくりは継続

5カ年ローリングプラン2019

財務戦略

成長戦略の推進により営業キャッシュフローを拡大し、積極的な事業投資および十分な株主還元を実施する

1)事業投資に関する考え方

6つのネットワークを確立させるため、中長期的な成長につながる投資を行う

2)株主還元に関する考え方

5年間累計の総還元性向を100%とする

2020年3月期の見通し

数値目標(連結)

| | |
|---------------------|---------|
| 売上高 | 2,230億円 |
| 営業利益 | 80億円 |
| 経常利益 | 87億円 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 58億円 |
| ROE | 4.7% |

オートバックスセブン・ビジョン 2050未来共創

プロフェッショナル & フレンドリー

